地域経済

障害者就労支援のグローアップ

廃材活用のクッション発売

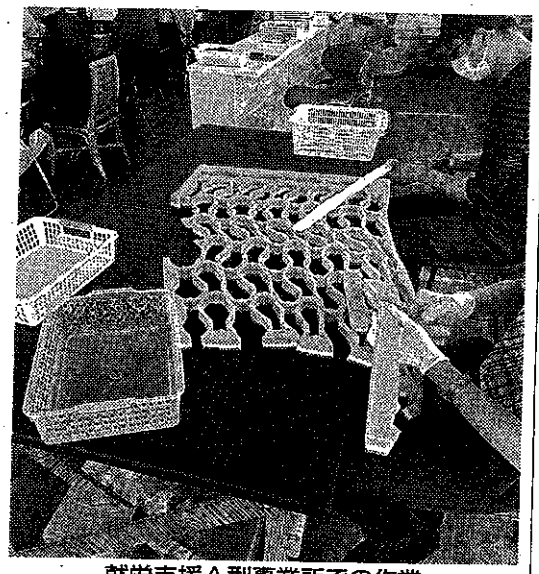
昇栄化成と共同開発

障害者の就労支援を手掛けるグローアップ（本社稲沢市西町3の73の2、黒野晋司社長、電話0587・96・7792）は、スポンジ端材を活用したクッションを発売した。緩衝材メーカーの昇栄化成（本社一宮市西萩原若宮前72、日沖昇市社長、電話0586・52・5915）と共同開発した。生産工程の一部をグローアップなどが運営する就労継続支援事業所で行い、廃材の再利用と障害者雇用の両立を目指す。（尾張・吉川英司）

クッションを紹介する黒野社長（右）と、材料のスポンジ端材を持つ日中社長

クッションの名称は「リ・フラッフィークッション」。キッチン用スポンジの端材を裁断し、洗濯用ネットに詰め込んだ。これにポリエステル製メッシュ素材の持ち手つきカバーをかけて製品化した。

生産工程のうち、スポンジ端材の裁断やネットへの詰め込み作業は、グローアップの就労継続支援A型事業所と、昇栄化成関連会社のQ&S（本社一宮市）が運営する就労継続支援B型事業所で行い、廃材の再利用と障害者雇用の両立を目指す。



就労支援A型事業所での作業

通気性に優れ水洗いできるため、衛生面に優れる。病院や介護施設での床ずれ防止用のほか、学童保育などからの引き合いも多いという。SDGs（持続可能な開発目標）に貢献する製品として、一般家庭や職場での休憩用、アウトドアなど多用途に提案する。

価格は縦32センチ、横64センチのショートタイプが税込み2200円。縦30センチ、横130センチのロングタイプが同3850円。

黒野社長は「付加価値の高いオリジナル製品を製造販売することで、賃金アップにつなげられる」と話す。

一方、昇栄化成では、スポンジ以外も含め月間約6トンの端材を廃棄している。日沖社長は「処理費用が月40万～50万円かかっており、その6割程度がスポンジ端材だ。少しでも廃棄を減らし、環境保護とコストダウンを図りたい」と説明

挑戦する経営を後押し

江南会議所が賀詞交歓会

【尾張】江南商工会議所は5日、江南市の江南商工会館で賀詞交歓会を開催した。江南市の澤田和延市長ら来賓を含め125人が出席した。

あいさつで松永金次郎会頭は、重点課題として「エネルギー・物価高により、厳しい状況にある事業者支援の継続」「事業者に合わせたデジタル活用支援」「創立50周年に伴う各種事業の整備」の3点を挙げた。その上で「きめ細やかな伴走型支援を徹底して行い、挑戦する経営を後押しするとともに、事業者が挑戦できる環境づくりを進めていく」と抱負を述べた。

澤田市長は「江南駅前の再開発など、進めなければ

あいさつする松永会頭

尾張支社
一宮市栄2-14-29
アスティー宮 北館102
TEL0586(72)500
FAX0586(72)682

尾東支局
春日井市上条町1-215
原ビル4階
TEL0568(41)995
FAX0568(41)995

半田支局
半田市泉町1-4
泉ビル4階
TEL0569(24)632
FAX0569(24)636

三河支社
岡崎市明大寺町寺東5-3
鈴熊ビル
TEL0564(52)226
FAX0564(54)233

刈谷支局
刈谷市相生町2-11
佐藤会計ビル
TEL、FAX兼用
0566(21)610

三遠支局
豊橋市萱町21
佐藤ビル3階
TEL0532(54)266
FAX0532(35)710

岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
TEL058(266)757
FAX058(262)657

東濃支局
多治見市上野町1-75
日映マンションⅢ602